

前熊・熊張地区 報告書

令和6年2月22日（土）午後2時～ 福祉の家集会室
参加者：15名

No.	内容	種類	回答
1	農地の借入スピードをあげる	意見	農業委員と連携し所有者との連絡がスムーズにできるよう心がけます。
2	農業者に優しい環境づくり具体的な策は？	質問	協議の場合は、更衣室やクーリングシェルター、トイレなどのアイディアが出ています。
3	労働環境（休憩所ほか）	アイディア	参考にします。
4	公的な施設でトイレの整備	アイディア	参考にします。
5	所有者に施設が嫌がられる	意見	土地所有者に説明をすることで理解を得ることが必要だと考えます。
6	借り手だと制約がある（施設の設置等）	意見	ご察しします。
7	用水路、排水路の老朽化が進む。改修を進める必要は？	質問	大幅な再整備の計画はなく、損傷個所から修繕を行っていきます。
8	前熊地区水路いつできる？	質問	大幅な改修の計画は今のところありません。
9	補助金に関して	意見	農業者に分かりやすい情報を提供できるように努めます。
10	相談窓口を作ってほしい（市なのか、農協なのか…補助金の相談先）	意見	農アドバイザーによる営農相談を行っていますので、みどりの推進課にお問合せください。
11	問題解決はしたいが、ざっくりすぎてまだよくわからない	意見	今後も協議の場を重ね、徐々に解決していけたらと考えます。
12	10年後とあるが、内容がよく理解できない	意見	分かりやすい計画となるよう今後も協議の場を重ね、地域計画の更新を行っていきます。
13	長久手らしさがほしい	意見	今後も協議の場を重ね、長久手らしさのある計画の更新を行っていきます。
14	都市近郊農業として独自のアイディアは？	質問	今後も協議の場を重ねることで、独自のアイディアを見出していけたらと考えます。
15	テーマパークとして田畑を整備を	アイディア	参考にします。
16	労働者の環境を守る取組が必要	アイディア	参考にします。
17	行政に新規就農者を受け入れる制度はあるか？担い手の育成、新規就農相談	質問	アグリサポート事業という農業を始める人に向けた事業を行っています。
18	人材バンクありかも	アイディア	参考にします。
19	担い手がバンクしたとき北部農産等が大型機械で後処理してもらえるか？	質問	作業委託という形で担ってもらえる可能性もあります。
20	トラクター等のメンテナンスが難しい（ヤンマーが土日祝休み、時間外対応なし）、他に対応できる場所は？	質問	不明ではありますが、今後も協議の場を継続して行うことで、農業者同士の情報共有の場を設けていきます。
21	イノシシ対策電柵を山の中や他人の山林でも通す形に。	アイディア	私有地内の設置は、土地所有者の許可が必要ですが、地域協議をしていただき、メッシュ柵を設置している例もあります。
22	どのようにイノシシと共存していくのか？	質問	すべてを駆除することは不可能なため、共存していくアイディアが必要です。
23	10aでやっているの、このままでも良い。自分の農地を逆に守りたい	意見	守るべき農地は守っていきます。
24	働きやすい環境整備、規制緩和	アイディア	参考にします。
25	公園のトイレを環境拠点に	アイディア	参考にします。
26	熊張地区は水が来ない、田んぼが少ない	意見	水がない地域について、水がなくても栽培できる作物への転作等も検討しています。
27	水	意見	今後も協議を重ねていきます。
28	農用地の中で耕作地（使っているもの）の推移は？減っているのでは？	質問	遊休農地は増えてきていますが、農地マッチング支援事業により耕作者が見つかり、遊休農地の解消につながっている事例もあります。
29	自作、委託の推移はどうなっているか？減っているのでは？	質問	推移については不明ですが、目標地図を見てもわかるように特に水田については自作が減っていることが伺えます。
30	耕作者側の意見に偏っていないか？	質問	おっしゃるとおりです。所有者の考えが聞ける場を検討していきます。
31	所有者の協力も必須	意見	所有者の考えが聞ける場を検討していきます。
32	集約にあたっての所有者への不安	意見	所有者の考えが聞ける場を検討していきます。
33	耕作者ではなく、所有者の気持ちがよくわからない	意見	所有者の考えが聞ける場を検討していきます。
34	耕作放棄地の開墾に補助を	意見	補助金に関する情報提供の方法を検討していきます。
35	将来的に農家の収入の直接補助を	意見	補助金に関する情報提供の方法を検討していきます。
36	地域環境保全に直接補助を。国でも県でも市でも…できるか？	意見	補助金に関する情報提供の方法を検討していきます。

順不同